

項目名	総合文書管理システムの構築		
大綱要旨	秋田市行政情報ネットワークシステム上に総合文書管理システムを構築し、文書の收受から廃棄に至るまでの流れを電子文書により一貫して管理する。		
改革内容	文書の起案、決裁、供覧、廃棄および情報公開に至るまでの流れを、電子文書により一貫して管理する総合的な文書管理システムを構築する。このシステムは、電子決裁機能や電子的な形態での原本保存機能を持ち、L G W A Nや庁内外の各種システムと連携することで電子自治体としての中核システムと位置づけられる。		
改革効果	<ul style="list-style-type: none"> ・紙による情報の管理から電子化された情報の管理に移行することにより、文書事務の簡素・効率化および書庫スペースの低減が図られる。 ・L G W A Nとの接続により、国や他自治体との間で、公印に代わる電子署名付きの電子公文書交換が可能となる。 ・データベース化した電子文書を情報公開することにより、市民の利便性および行政の透明性の向上が図られる。 ・将来的に電子申請・届出や電子入札等のシステムと連携することにより、行政事務の効率化・高度化、正確性の確保が図られるとともに、市民の立場に立った質の高い行政サービスの提供につながる。 		
実施計画	年度	着手・実施	詳細内容
	14年度		
	15年度	着手	・総合文書管理システムの庁内検討、先進地調査、仕様検討
	16年度		・総合文書管理システムの詳細設計、業者選定、構築 ・公文書に関する規程等の整備
	17年度	実施	・総合文書管理システム運用開始 ・電子自治体関係他システムへの応用